

Novell SecureLogin Readme 7.0 SP2

2011 年 4 月

Novell®

Novell SecureLogin はシングルサインオンアプリケーションです。ネットワークやアプリケーションに対する認証機能およびシングルサインオン機能を提供する、複数の統合セキュリティシステムで構成されています。企業ネットワークとそのユーザーリソースにシングルエントリポイントを提供することにより、セキュリティを強化すると同時に企業のセキュリティポリシーの遵守を向上させることができます。必要なユーザ名とパスワードは自動的に入力されるので、ユーザは複数のユーザ名とパスワードを覚える必要がなくなります。

- ◆ 1 ページのセクション 1 「はじめに」
- ◆ 1 ページのセクション 2 「前提条件」
- ◆ 2 ページのセクション 3 「新機能」
- ◆ 4 ページのセクション 4 「確認されている問題」
- ◆ 14 ページのセクション 5 「マニュアル」
- ◆ 14 ページのセクション 6 「保証と著作権」

1 はじめに

このドキュメントでは、このバージョンの Novell SecureLogin で導入された新機能について紹介します。また、Novell SecureLogin の管理、動作、およびその他の機能に関する問題について説明します。

Novell SecureLogin の詳細については、[Novell SecureLogin 製品の Web サイト \(http://www.novell.com/products/securelogin/\)](http://www.novell.com/products/securelogin/) を参照してください。

2 前提条件

2.1 必須のインストール後の手順

SecureLogin 7.0 または 7.0 SP1 を eDirectory LDAP モードまたは NDS モードでインストール後、すぐに FIX701100501_185 フィックスを解凍し、ndsschema.exe ファイルを実行して、スキーマを拡張する必要があります。この手順は、SecureLogin の円滑な動作のために必須です。

2.2 Novell SecureLogin での Client ログイン機能拡張の使用

Novell Client ログイン機能拡張は、Novell Client のログインパスワードを忘れたユーザが、パスワードを回復する際に役立ちます。Novell Client を使用して、Novell Client をインストールしてから Client Login 機能拡張ツールをインストールしてください。

2.3 Microsoft Windows Vista での SLogging Manager の使用

SLogging Manager ユーティリティを使用すると、サポート用の詳細なログ記録機能が有効になります。

SLogging Manager は管理者用ツールなので、Microsoft Windows Vista または Windows 7 オペレーティングシステム上で実行するには、管理者権限が必要です。

SLogging Manager アプリケーションを右クリックして、[管理者として実行] を選択します。SLogging Manager で変更を行うと、関連するログファイルを作成できるように、正しくレジストリが変更されます。

2.4 Microsoft Windows Vista へのインストール

SecureLogin を Windows Vista マシンにインストールする前に、最新のセキュリティパッチとサービスパッチ、または MS Redistributable (32 ビットまたは 64 ビット) を使用してオペレーティングシステムを更新済みであることを確認してください。更新されていない場合、SecureLogin のインストールは失敗し、"NSL Event Service の開始に失敗しました" というエラーメッセージが表示されます。

3 新機能

- ◆ 2 ページのセクション 3.1 「LDAP コンテキストレス検索」
- ◆ 2 ページのセクション 3.2 「SLManager のサポートの拡張」
- ◆ 3 ページのセクション 3.3 「Microsoft Credential Provider による CLE のサポート」
- ◆ 3 ページのセクション 3.4 「使い捨てパスワードのサポート」
- ◆ 3 ページのセクション 3.5 「Flash SSO のサポート」
- ◆ 3 ページのセクション 3.6 「メッセージボックス」
- ◆ 3 ページのセクション 3.7 「Athena ミドルウェア向けのスマートカードのサポート」
- ◆ 3 ページのセクション 3.8 「Active Directory モードでのユーザの簡易切り替え」
- ◆ 4 ページのセクション 3.9 「スマートカードの PIN キャッシングの有効化」

3.1 LDAP コンテキストレス検索

Novell SecureLogin 7.0 SP2 のリリースで、LDAP コンテキストレス検索機能が拡張され、LDAPAuth コンポーネントは匿名バインドが無効の場合も検索を実行できるようになりました。

詳細については、『Novell SecureLogin インストールガイド』の「[コンテキストレスログイン](#)」を参照してください。

3.2 SLManager のサポートの拡張

Novell SecureLogin 7.0 SP2 のリリースで、SLManager 機能が拡張され、LDAP 匿名バインドが無効の場合でもユーザオブジェクトのクエリとディレクトリオブジェクトに対する管理操作ができるようになりました。

3.3 Microsoft Credential Provider による CLE のサポート

Windows Vista および Windows 7 では、LDAP クライアントや Novell Client 用の資格情報プロバイダなどのグラフィカル認証インタフェース向けに、パスワード回復サポートが用意されています。これらのクライアントがない場合は、Client ログイン機能拡張によって実装されるデフォルトの Microsoft Credential Provider がパスワード回復サポートを提供します。

詳細については、『Novell Client ログイン機能拡張ガイド (http://wwwtest.provo.novell.com/documentation/cle37/nsl_cle/index.html?page=/documentation/cle37/nsl_cle/data/front.html)』を参照してください。

3.4 使い捨てパスワードのサポート

最新のバージョンでは、使い捨てパスワード (OTP) の機能が強化され、SecureLogin による SSO のサポートが、OTP を使用するよう設定されているアプリケーションに拡張されています。

この結果、Novell SecureLogin は、アプリケーションに以前に設定された情報を使用した OTP の生成と、資格情報フィールドへの情報の入力を自動的に行います。そのため、シームレスな SSO エクスペリエンスが提供されます。

詳細については、『Novell SecureLogin アプリケーション定義ガイド』の「[GenerateOTP](#)」を参照してください。

3.5 Flash SSO のサポート

SecureLogin の最新バージョンでは、Flash アプリケーションがサポートされます。

3.6 メッセージボックス

SecureLogin の最新バージョンでは、メッセージボックスで `\n` と `\t` の両書式がサポートされます。

3.7 Athena ミドルウェア向けのスマートカードのサポート

SecureLogin の最新バージョンでは、Athena ミドルウェアを使用したスマートカードの認証がサポートされます。

3.8 Active Directory モードでのユーザの簡易切り替え

レジストリ設定を更新することで、同じ Windows セッションから Active Directory モードで複数のユーザが Novell SecureLogin にログインできます。

- 1 HKEY_LOCAL_MACHINE\Software\Protocom\SecureLogin に移動します。
- 2 新しい DWORD 値 EnableSmartCardPinCache を作成します。
- 3 この値を 1 に設定します。

注：この機能によってユーザがパスワードを変更できるようにはなりません。

3.9 スマートカードの PIN キャッシングの有効化

スマートカードの PIN キャッシングを有効にする方法は次のとおりです。

- 1 HKEY_LOCAL_MACHINE\Software\Protocom\SecureLogin に移動します。
- 2 新しい DWORD 値 NSLADAuth を作成します。
- 3 この値を 1 に設定します。

4 確認されている問題

- ◆ 4 ページのセクション 4.1 「一般的な問題」
- ◆ 6 ページのセクション 4.2 「DAS 関連の問題」
- ◆ 7 ページのセクション 4.3 「LDAP 関連の問題」
- ◆ 7 ページのセクション 4.4 「pcProx 関連の問題」
- ◆ 7 ページのセクション 4.5 「スクリプト作成に関する問題」
- ◆ 8 ページのセクション 4.6 「Secure Workstation に関する問題」
- ◆ 9 ページのセクション 4.7 「スマートカードに関する問題」
- ◆ 9 ページのセクション 4.8 「TLaunch 関連の問題」
- ◆ 10 ページのセクション 4.9 「アップグレードに関する問題」
- ◆ 11 ページのセクション 4.10 「Web 関連の問題」
- ◆ 12 ページのセクション 4.11 「Oracle フォームに関する問題」
- ◆ 13 ページのセクション 4.12 「Client ログイン機能拡張に関する問題」
- ◆ 13 ページのセクション 4.13 「Flash SSO に関する問題」

4.1 一般的な問題

- ◆ 5 ページの 「Novell Client Credential Provider モードでの Novell SecureLogin Citrix パススルー」
- ◆ 5 ページの 「ScriptBroker モジュールをインスタンス化できません : 80070005」
- ◆ 5 ページの 「一意の名前の使用」
- ◆ 5 ページの 「Citrix サーバ認証の場合、手動でスマートカードの PIN を入力する必要がある」
- ◆ 5 ページの 「eDirectory を使用する LDAP GINA モードの Novell SecureLogin ログイン」
- ◆ 5 ページの 「古いパスワードの検証」
- ◆ 6 ページの 「パスワードポリシーが使用できないというエラーメッセージ」
- ◆ 6 ページの 「sldotnetsso64 のメモリリーク」
- ◆ 6 ページの 「Active Directory モードでのユーザの簡易切り替えの際に SecureLogin のシステムトレイアイコンが消えない」

4.1.1 Novell Client Credential Provider モードでの Novell SecureLogin Citrix パススルー

Novell Client™ Credential Provider モードでの、Microsoft Windows 2008 への Novell SecureLogin Citrix パススルーはサポートされません。

4.1.2 ScriptBroker モジュールをインスタンス化できません : 80070005

Web ページが別の方法を使用して情報を SecureLogin に送信できなかった場合は、次のエラーメッセージが表示されます。

ScriptBroker モジュールをインスタンス化できません : 80070005

この問題を解決するには、SecureLogin をアンインストールし、そのインストールディレクトリを削除します。さらに、レジストリハイブ `hkml/software/protocom` も削除し、SecureLogin を再インストールします。

この方法により、エラーの発生元となった Web ページを含むすべての Web ページについて、このエラーを解決できます。

それでも問題が解決しない場合は、以下に示す一部の SecureLogin dll ファイルを再登録してください。

```
regsvr32 "C:\Program Files\Novell\SecureLogin\ieso.dll
```

```
regsvr32 "C:\Program Files\Novell\SecureLogin\slbroker.dll
```

```
regsvr32 "C:\Program Files\Novell\SecureLogin\slcaptain.dll
```

4.1.3 一意の名前の使用

ユーザ ID、アプリケーション、パスワードポリシーの名前は、すべて一意にする必要があります。また、「Error」という名前のアプリケーションは作成できません。

SecretStore クライアントと SecureLogin を、eDirectory モードでインストールし、たとえば、「App1」という名前で、パスワードポリシーが既に存在している場合、「App1」という名前を付けたアプリケーションを追加することはできません。

4.1.4 Citrix サーバ認証の場合、手動でスマートカードの PIN を入力する必要がある

Citrix ログインプロンプトでスマートカード認証を使用する場合、Citrix サーバ認証では PIN がキャッシュされないため、スマートカードの PIN を手動で入力してください。

4.1.5 eDirectory を使用する LDAP GINA モードの Novell SecureLogin ログイン

eDirectory ユーザの完全識別名 (FDN) が 128 文字以上の場合、新しいユーザに対してパスワードを設定している間に、eDirectory を使用する LDAP GINA モードの Novell SecureLogin が機能しません。

4.1.6 古いパスワードの検証

Microsoft Windows 2003 の設定では、ユーザは古いパスワードを使ってワークステーションにログインできる場合があります。ユーザが正常にログインしているため、Novell SecureLogin はロードされます。Windows 2003 サーバの属性 (パスワードの有効期間) によっては、古いパスワードの再利用が許可されます。

パスワードの変更が行われた直後に古いパスワードが無効になるようにする方法は次のとおりです。

1. ドメインコントローラのレジストリ設定を次の値で更新します：
HKEY_LOCAL_MACHINE\SYSTEM\CurrentControlSet\Control\Lsa
2. 新しい DWORD 値 OldPasswordAllowedPeriod を作成します。
3. この値を 0 に設定します。

詳細については、Microsoft の Web サイト (<http://support.microsoft.com/kb/906305>) を参照してください。

4.1.7 パスワードポリシーが使用できないというエラーメッセージ

パスワードポリシーが既に存在している場合は、ユーザデータの復元時に表示される「パスワードポリシーが存在しない」という誤ったメッセージを無視してください。

4.1.8 sldotnetsso64 のメモリリーク

sldotnetsso64 によってワークステーションで使用されるメモリが、おおよそ 15mb から 142mb に増加しています。

4.1.9 Active Directory モードでのユーザの簡易切り替えの際に SecureLogin のシステムトレイアイコンが消えない

HKLM\Software\Protocom\SecureLogin\ で新しい *DWORD* として NSLADSAuth を作成し、NSLADAuth の値を 1 に設定した場合、ログイン操作をキャンセルすると SecureLogin のトレイアイコンが複数表示されます。

マウスで SecureLogin のシステムトレイアイコンをポイントすると、SecureLogin のシステムトレイアイコンが消えます。

4.2 DAS 関連の問題

- ◆ [6 ページの「iManager を使用した DAS スキーマの拡張の失敗」](#)
- ◆ [7 ページの「DAS 関連データがログファイルに保存されない」](#)

4.2.1 iManager を使用した DAS スキーマの拡張の失敗

DAS スキーマ拡張で、iManager による拡張が適切に実行されません。これは、eDirectory の Import Conversion Export ユーティリティの不具合によるものです。

この問題は、次のいずれかの回避策によって解決してください。

- ◆ **ConsoleOne を使用する方法** : [ツール] > [スキーマ] > [属性の追加] > [クラスの追加] にブラウズします。属性情報を指定します。---Sailesh
- ◆ **ndssch コマンドラインユーティリティの使用** : スキーマを拡張するには、ndssch ユーティリティを使用します。このユーティリティは、eDirectory にバンドルされています。-h オプションを使用して、スキーマを拡張する NetWare ワークステーションの IP アドレスを指定します。

注: このユーティリティは、eDirectory がインストールされていれば、どのワークステーションからでも実行できます。

4.2.2 DAS 関連データがログファイルに保存されない

Windows 7 と Windows Vista では、UAC が有効な場合、DAS 機能のログファイルに DAS 関連データが保存されません。DASLog.txt ファイルのパスをインストールされている場所から C:\ に変更すると、ログファイルに DAS 関連データが保存されます。

4.3 LDAP 関連の問題

- ◆ [7 ページの「アプリケーションがロードできない」](#)

4.3.1 アプリケーションがロードできない

SecureLogin ウィザードを使用すると、LDAP モードの .NET アプリケーションのログインアカウント情報の設定、パスワードオプションの変更、パスワード通知の変更などを行うことができます。設定されたアプリケーションのパフォーマンスは、そのサイズ (通常最大 64KB) と関連するコントロールの数 (通常最大 10 のコントロール) に影響されます。サイズとコントロールの数がシステムで大きな領域を占める場合は、次のログイン時にアプリケーションのロードが失敗します。したがって、ログインの前に、そのようなアプリケーションをアプリケーション定義に変換し、サイズを縮小してください。

4.4 pcProx 関連の問題

- ◆ [7 ページの「pcProx による識別」](#)
- ◆ [7 ページの「Citrix のセッションにおける pcProx のロック解除操作」](#)

4.4.1 pcProx による識別

Microsoft Windows 2008 および Windows 7 上の Novell Client では、pcProx が新しいユーザの識別を最初に試みたときに、失敗します。システムがネットワークにログインできないことを示すエラーメッセージが表示され、ユーザは資格情報の確認を求められます。

そのため、最初の試行時には、NMASS pcProx シーケンスを使用して Novell Client にログインします。pcProx による識別は、以降のログインで適切に実行されます。

4.4.2 Citrix のセッションにおける pcProx のロック解除操作

NMASS pcProx シーケンスを使用する Citrix セッションのロック解除は機能しません。つまり、リモートの Citrix セッションが Secure Workstation の QLL GUI または Windows のスクリーンセーバーオプションを使用してロックされている場合、NMASS pcProx シーケンスによるロック解除操作は機能しません。

4.5 スクリプト作成に関する問題

- ◆ [8 ページの「Novell GroupWise 7.0 の Web ログイン用プレビルトスクリプト」](#)

4.5.1 Novell GroupWise 7.0 の Web ログイン用プレビルトスクリプト

Windows Vista 環境では、Novell GroupWise の Web アクセス用プレビルトスクリプトが、Novell SecureLogin クライアントのアプリケーション領域に存在したとしても、検出されません。

ユーザには、スクリプトの使用を要求するプロンプトは表示されません。Novell SecureLogin でのスクリプトの実行は失敗します。

この問題を解決するには、プレビルトスクリプトをアプリケーション定義の一覧に追加します。

4.6 Secure Workstation に関する問題

- ◆ 8 ページの「Secure Workstation のセッション管理プロセスがブロックされる」
- ◆ 8 ページの「Microsoft Windows Vista デスクトップ上での Secure Workstation シーケンスによる NMAS ログインの使用」
- ◆ 9 ページの「Secure Workstation のポストログインメソッドをログインシーケンスに追加すると、ログインに失敗する」

4.6.1 Secure Workstation のセッション管理プロセスがブロックされる

ユーザのアクセス制御が有効なワークステーションに管理者がログインした場合、Secure Workstation のセッション管理プロセスがブロックされ、エラーメッセージが表示されます。

Windows 7 では、手動でプロセスを実行することで問題を回避できます。

Windows Vista では、タスクバーから直接プロセスのブロックを解除してください。ブロックが解除されていない場合、ユーザは NMAS セキュアワークステーションシーケンスを使用してログインできず、「エラー 740: Secure Workstation セッション管理プロセスがブロックされています。続行するにはブロックを解除してください」というエラーメッセージが表示されます。

このエラーは、管理者特権を持っているユーザにだけ発生し、管理者特権を持たないユーザ (標準ユーザ) には発生しません。

詳細については、Microsoft Developer Network の Web サイト (<http://msdn.microsoft.com/en-us/library/bb325654.aspx>) を参照してください。

4.6.2 Microsoft Windows Vista デスクトップ上での Secure Workstation シーケンスによる NMAS ログインの使用

Microsoft Windows Vista デスクトップ上では、管理者が Secure Workstation のセッション管理プロセス (wsaccsmp) のロックを解除せずに Secure Workstation のシーケンスによる NMAS ログインを使用すると、エラーコード 740 により NMAS ログインが失敗します。

この問題は、Novell Client、または Novell SecureLogin と LDAP クライアントの組み合わせで NMAS が使用されている場合に発生します。

4.6.3 Secure Workstation のポストログインメソッドをログインシーケンスに追加すると、ログインに失敗する

NMAS サーババージョン 3.1.0 でのポストログインメソッドが失敗するため、iManager で設定すると Secure Workstation のポリシーは失敗します。

この問題を解決するには、SecureLogin のサポート対象となっている NMAS サーバの最新バージョンにアップグレードしてください。

4.7 スマートカードに関する問題

- ◆ 9 ページの「スマートカードに関する不適切なエラーメッセージ」
- ◆ 9 ページの「ユーザプリンシパル名がない場合に SecureLogin の起動に失敗する」

4.7.1 スマートカードに関する不適切なエラーメッセージ

[SSO データの暗号化にスマートカードを使用する] が [PKI 資格情報] に設定され、[パスワードセキュリティシステムを有効にする] が [いいえ] に設定されている場合に、ユーザがスマートカードを使用せずにログインしても、ユーザーはスマートカードの使用を求められません。

その代わりに、「スマートカードには証明書の選択基準に一致する証明書がありません」という誤ったメッセージが表示されます。

4.7.2 ユーザプリンシパル名がない場合に SecureLogin の起動に失敗する

[スマートカードを使用して SSO データを暗号化する] が [いいえ] に設定されている場合、ユーザプリンシパル名なしでスマートカード認証を使用すると Novell SecureLogin の起動に失敗します。>

この問題は、以下のオプションのいずれかを使用すると解決できます。

- ◆ [スマートカードを使用して SSO データを暗号化する] 初期設定を [PKI 資格情報] に設定する。>
- ◆ スマートカードにユーザプリンシパル名を設定する。

4.8 TLaunch 関連の問題

- ◆ 9 ページの「TLaunch での新しいエミュレータの追加または既存のエミュレータの設定変更の保存に失敗する」
- ◆ 10 ページの「アップグレード時に Windows エクスプローラを閉じるように要求される」

4.8.1 TLaunch での新しいエミュレータの追加または既存のエミュレータの設定変更の保存に失敗する

TLaunch を起動して利用可能なエミュレータを検索すると、TLaunch は新しく作成されたエミュレータの検出に失敗します。

また、TLaunch は既存のエミュレータに対して行った変更の保存にも失敗します。

ただし、Microsoft Windows または Windows XP 上でエミュレータの追加および編集を行うことができます。

この問題を回避するには、[スタート]、[プログラム]、[Novell SecureLogin] の順にクリックし、[Terminal Launcher] を右クリックして、[管理者として実行する] を選択します。> > > >

4.8.2 アップグレード時に Windows エクスプローラを閉じるように要求される

Microsoft Windows Vista マシン上に Novell SecureLogin が LDAP モードでインストールされている場合は、バージョン 6.1 または 6.1 SP1 から 7.0 にアップグレードするときに、Windows エクスプローラ、Windows インストーラなどを閉じるよう求められます。

その場合は、[無視する] をクリックして、アップグレードを続行してください。

4.9 アップグレードに関する問題

- ◆ 10 ページの「Novell SecureLogin のカスタマイズバージョンのアップグレード」
- ◆ 10 ページの「アップグレードの際に SLMANAGER.EXE が自動的にインストールされる」
- ◆ 11 ページの「通知領域アイコンがパスワードで保護されている場合にパスワードの入力を求められる」

4.9.1 Novell SecureLogin のカスタマイズバージョンのアップグレード

カスタマイズされたバージョンの Novell SecureLogin(ビットマップ、LocalHero.dll、および同様のファイルがカスタマイズされている場合) を 7.0 にアップグレードする場合、新バージョンではカスタマイズされたファイルが標準ファイルに置き換えられます。

カスタマイズされた設定を維持するには、次のいずれかを実行します。

- ◆ カスタマイズされた設定を Novell SecureLogin 7.0 MSI 上で複製します。
- ◆ カスタマイズされたファイルのバックアップを作成して、アップグレード後に適用します。

4.9.2 アップグレードの際に SLMANAGER.EXE が自動的にインストールされる

SecureLogin 6.0 から SecureLogin 7.0 にアップグレードするとき、SLMANAGER.EXE が自動的にインストールされます。アップグレードプロセスでの SLMANAGER.EXE のインストールを中止する方法はありません。

この問題を解決するには、以下の行が含まれた .bat ファイルを作成して、SLMANAGER.EXE を手動で削除します。

```
@echo off
del "C:\Documents and Settings\All Users\Start Menu\Programs\Novell
SecureLogin\SecureLogin Manager.lnk"
del "C:\Program Files\Novell\SecureLogin\slmanager.exe"
```

4.9.3 通知領域アイコンがパスワードで保護されている場合にパスワードの入力を求められる

Novell SecureLogin 6.1 から 7.0 にアップグレードしているときに、[システムトレイアイコンをパスワードで保護する] が有効に設定されていると、ユーザーはネットワークパスワードの入力を求められます。

この問題を解決するには：

- 1 アップグレードを開始する前に、Novell SecureLogin を手動で停止します。

または

コマンドラインで `slproto/forcshutdown` を実行し、Novell SecureLogin をシャットダウンします。

注： SecureLogin を手動で停止した場合は、パスワードの入力を求められます。

`slprotoc/forcshutdown` コマンドを使用した場合は、パスワードの入力は求められません。

- 2 アップグレードを開始します。
- 3 適切な資格情報を入力します。

4.10 Web 関連の問題

- ◆ [11 ページの「Windows 2003 サーバからの Web アプリケーションへのアクセス」](#)
- ◆ [11 ページの「インストール時の FireFox 関連の問題」](#)
- ◆ [12 ページの「資格情報の入力を求めるプロンプトが表示されない」](#)
- ◆ [12 ページの「パスワードにスカンジナビア文字が含まれる場合にログインできない --JYOTHY」](#)

4.10.1 Windows 2003 サーバからの Web アプリケーションへのアクセス

Microsoft Windows 2003 サーバの Internet Explorer から直接アクセスする Web アプリケーションは、サーバで Windows セキュリティ強化オプションを無効にするまで機能しない場合があります。別の方法として、[インターネットオプション]、[詳細設定] の順にクリックし、サードパーティ製の Web ブラウザ拡張機能を有効にすることもできます。>

ただし、この方法は Microsoft Windows 2003 サーバに接続したクライアントには影響を与えません。

4.10.2 インストール時の FireFox 関連の問題

Novell SecureLogin をインストールする前に、Mozilla Firefox を 1 回以上起動しておきます。一度も起動していない場合、Novell SecureLogin のインストール中に、Internet Explorer の設定をインポートするよう促すメッセージが表示されます。

このメッセージが表示された場合は、[インポート] をクリックして Internet Explorer の設定をインポートするか、または [キャンセル] をクリックしてインポートをキャンセルします。> その後で、Novell SecureLogin のインストールを続行できます。

4.10.3 資格情報の入力を求めるプロンプトが表示されない

DHTML に対応した Web アプリケーションが開始されると、SecureLogin で資格情報の入力を求めるプロンプトが表示されません。このエラーは、SecureLogin で、サイトのシングルサインオンを有効にするために事前定義されたアプリケーション定義の実行に失敗した場合に発生します。この問題を解決するには、ブラウザセッションを閉じて Web アプリケーションを再度起動してください。

4.10.4 パスワードにスカンジナビア文字が含まれる場合にログインできない --JYOTHY

パスワードにスカンジナビア文字が含まれる場合、SecureLogin の認証に失敗します。

4.11 Oracle フォームに関する問題

- ◆ [12 ページの「Oracle フォームのサポート」](#)
- ◆ [12 ページの「認証フィールドが2つのウィンドウに表示される」](#)
- ◆ [12 ページの「Oracle フォームアプリケーションの命名」](#)
- ◆ [12 ページの「アプリケーション定義を開くのに時間がかかる」](#)

4.11.1 Oracle フォームのサポート

Novell SecureLogin 7.0 SP2 は、Web 対応 Oracle フォームアプリケーションをサポートします。したがって、Novell SecureLogin 7.0 SP2 を使用するシステムでは、Oracle JInitiator および JRE を利用する必要があります。Novell SecureLogin が既に実行されているマシンにこれらが1つも存在しない場合は、足りない Java コンポーネントをマシンに追加し、SecureLogin インストーラの修復オプションを実行します。インストーラの修復オプションを使用すると、Oracle フォームアプリケーションで使用するための新しい Java コンポーネントが追加されます。

4.11.2 認証フィールドが2つのウィンドウに表示される

[表示する] ボタンをクリックすると、アプリケーション定義ウィザードで定義されたアプリケーションで認証フィールドが表示されます。ブラウザから実行される Oracle フォームを定義した場合、Oracle フォームだけでなく、ブラウザにも識別されたフィールドが表示されることがあります。この動作は無視してかまいません。

4.11.3 Oracle フォームアプリケーションの命名

Java コンポーネントは、最も内側にあるコンテナのタイトルフィールドに由来する名前を Oracle フォームアプリケーションに割り当てます。フォームの作成時に、最も内側にあるコンテナにタイトルが割り当てられていない場合、ウィザードで Oracle フォームアプリケーションに名前を割り当てることができません。

4.11.4 アプリケーション定義を開くのに時間がかかる

Oracle フォームのアプリケーション定義が開始される前に、Oracle コンポーネントのロードにしばらく時間が必要です。そのためウィザードでは、Oracle フォームのアプリケーション定義を開始する際にしばらく時間がかかります。

4.12 Client ログイン機能拡張に関する問題

- ◆ 13 ページの「指定されたテキストが表示されない」
- ◆ 13 ページの「[パスワードを忘れました] リンクが機能しない」

4.12.1 指定されたテキストが表示されない

Client ログイン機能拡張ツールを使用すると、ユーザが [パスワードを忘れましたか?] リンクをクリックした場合に表示されるテキストを指定できます。リンクをクリックしても Novell Client 用に指定したテキストが表示されません。

4.12.2 [パスワードを忘れました] リンクが機能しない

Novell Client 用の Microsoft Credential Provider では、失念したロックされたワークステーション用パスワードを回復するために [パスワードを忘れました] リンクを使用しても、パスワードを回復できません。

4.13 Flash SSO に関する問題

- ◆ 13 ページの「ウィザードのサポートなし」
- ◆ 13 ページの「title コマンドを認識しない」
- ◆ 13 ページの「select コマンドが機能しない」
- ◆ 13 ページの「ウィンドウサイズの変更」
- ◆ 13 ページの「メモリリーク」

4.13.1 ウィザードのサポートなし

Flash アプリケーションのウィザードは一切サポートしていません。

4.13.2 title コマンドを認識しない

title コマンドは Flash スクリプトで機能しません。

4.13.3 select コマンドが機能しない

select コマンドは Flash スクリプトでは機能しません。

4.13.4 ウィンドウサイズの変更

ウィンドウサイズを変更した場合、Flash スクリプトを実行しても予想通りに動作しない場合があります。

4.13.5 メモリリーク

Flash スクリプトを実行するたびに、約 20 ~ 40KB 前後の小規模なメモリリークが発生します。

5 マニュアル

製品の完全なマニュアルは、[Novell SecureLogin 7.0 SP2 のマニュアルの Web サイト \(http://www.novell.com/documentation/securelogin70/\)](http://www.novell.com/documentation/securelogin70/) にあります。

6 保証と著作権

米国 Novell, Inc. およびノベル株式会社は、この文書の内容または使用について、いかなる保証、表明または約束も行っておりません。また文書の商品性、および特定の目的への適合性については、明示と黙示を問わず一切保証しないものとします。米国 Novell, Inc. およびノベル株式会社は、本書の内容を改訂または変更する権利を常に留保します。米国 Novell, Inc. およびノベル株式会社は、このような改訂または変更を個人または事業体に通知する義務を負いません。

米国 Novell, Inc. およびノベル株式会社は、すべてのノベル製ソフトウェアについて、いかなる保証、表明または約束も行っておりません。またノベル製ソフトウェアの商品性、および特定の目的への適合性については、明示と黙示を問わず一切保証しないものとします。米国 Novell, Inc. およびノベル株式会社は、ノベル製ソフトウェアの内容を変更する権利を常に留保します。

本契約の下で提供される製品または技術情報はすべて、米国の輸出管理規定およびその他の国の輸出関連法規の制限を受けます。お客様は、すべての輸出規制を遵守して、製品の輸出、再輸出、または輸入に必要なすべての許可または等級を取得するものとします。お客様は、現在の米国の輸出除外リストに掲載されている企業、および米国の輸出管理規定で指定された輸出禁止国またはテロリスト国に本製品を輸出または再輸出しないものとします。お客様は、取引対象製品を、禁止されている核兵器、ミサイル、または生物化学兵器を最終目的として使用しないものとします。ノベル製ソフトウェアの輸出については、[Novell International Trade Services \(http://www.novell.com/info/exports/\)](http://www.novell.com/info/exports/) の Web ページをご参照ください。弊社は、お客様が必要な輸出承認を取得しなかったことに対し如何なる責任も負わないものとします。

Copyright © 2005-2011 Novell, Inc. All rights reserved. 本ドキュメントの一部または全体を無断で複製転載することは、その形態を問わず禁じます。

米国 Novell, Inc. は、本文書に記載されている製品に実装されている技術に関する知的所有権を保有します。これらの知的所有権は、[Novell Legal Patents の Web ページ \(http://www.novell.com/company/legal/patents/\)](http://www.novell.com/company/legal/patents/) に記載されている 1 つ以上の米国特許、および米国ならびにその他の国における 1 つ以上の特許または出願中の特許を含む場合があります。

Novell の商標一覧については、「[商標とサービスの一覧 \(http://www.novell.com/company/legal/trademarks/tmlist.html\)](http://www.novell.com/company/legal/trademarks/tmlist.html)」を参照してください。

サードパーティの商標は、それぞれの所有者に属します。